

今月号は、市民の安心・安全を守るために改修事業の進捗状況、ならびに県議会令和元年6月定例会の総括要旨について報告します。

水害から市民を守る安野川 大改修事業 順調に進捗中

新潟県議会議員 帆苅 謙治



災害の状況(庄ヶ宮地内)

私は、市民の皆さまの安心・安全を守るという当たり前のことを、多くの政策課題の中でも優先的に取り組んでいます。いま、全国各地で地球温暖化の影響による集中豪雨が頻繁に発生し、多くの尊い命や財産が失われています。

阿賀野市は、昭和39年新潟地震、昭和42年羽越水害、平成7年新潟県北部地震、平成10年豪雨、平成23年新潟・福島豪雨などの大災害が発生し、大きな被害を受けています。

羽越水害では、死者15人、家屋の全壊、半壊が146棟など甚大な被害が旧安田町と笹神村に集中しました。旧水原町では、豪雨の度に床上、床下浸水の被害を受け、抜本的かつ早急な治水対策が市民の悲願となっていました。

訓とし、その悲惨な事実を後世に語り継がなければならないと考えています。

(大荒川)の工事が完了の中で、改修した安野川への流出量が3~4倍にもなり、下流2カ所で破堤するなどの被害が発生しました。

私は、平成3年4月の県議選で初当選して以来、水原を中心とする治水対策、とりわけ安野川の改修が急務であることが共に、毎年強力に改修要望を繰り返していました。

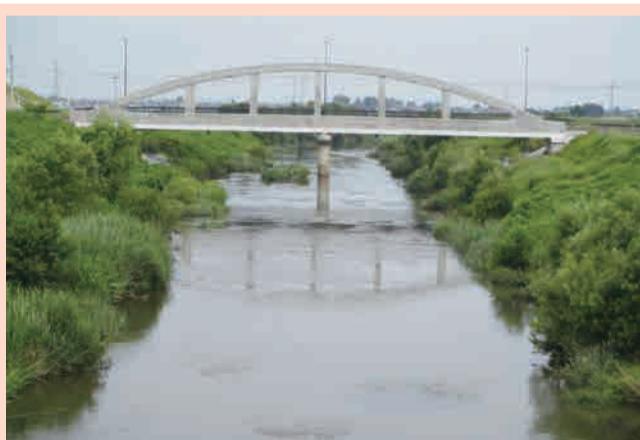
当時の土木・農地事務所と度重なる協議の結果、農水省の湛水防除事業に対応できることが確認されました。

この結果、阿賀野市を流れる一級河川安野川は、地域を洪水被害から守り、安全・安心な故郷づくりのため、県営湛水防除事業により改修工事を行うことになりました。

県農地部では、平成10年から県営湛水防除事業安野川地区として、現在90m/sの流下能力を220m/sに高める安野川改修工事に着手し、現在、総事業費は約400億円、毎年約17億円で事業が鋭意進められています。

「安野川特別枠」で事業の進捗早まる!

これから台風到来の季節になりますので、この機会に、工事の進捗状況を写真で紹介させていただきます。



むいかのあんのはしから下流を望む

私は、防災や減災対策を進め

過去の大災害を教訓に!

市民の悲願
安野川改修!

羽越水害では、安野川排水路

に生まれ変わります。



旧三国街道百津橋から上流を望む



しんももづばから下流を望む



しんももづばから上流を望む

全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!

5月臨時会における議長選出状況



投票結果の集計状況



私(帆苅)の投票状況



議員への投票用紙配布

7月号では、県議会の役割と組織について説明しました。今月号は、6月定例会（6月18日～7月5日）における常任委員会と特別委員会の議論総括を報告することにより、県議会では今、何が議論されているのかをお伝えします。

また、県議選終了後の5月臨時会で行われた議長選出の投票

1 常任委員会

① 総務文教委員会

- ・人口減少と高齢化が進展する本県の投票率向上対策として、移動式の期日前投票所の取組や投票所のバリアフリー化などにより有権者の投票機会のさらなる確保に向け市町村選挙管理委員会への働きかけを強化すること。
- ・教員の確保に当たり、働きやすい職場環境の整備、多忙化解消アクションプランに基づく業務改善等の取組をさりに推進すること。

③ 産業経済委員会

・ 県産品の利用推進に向けた
県内調達に当たつては、実効性
の確保が一層求められるの
で、各部局が共通認識のもと、
緊密に連携し県内発注・県内
調達推進会議において計画段
階から積極的な発注に一体と
なつて取り組むこと。

2 特別委員会

① 人口減少問題対策

- ・ ほ場整備を契機とした園芸の導入に当たっては、新たな販路や品目の助言など販売側の視点を踏まえた支援が重要であるので、既存の推進体制への実需者の参画を検討すること。
- ・ 国や階層のニーズを的確にとらえた受入体制の整備に努めること。

(4) 建設公安委員會

・子育て支援については、今県的な取組の充実が求められているので、施策に関する助言や優良事例の共有など市町村との連携をさらに強化すべきである。また、本県が居住地に選ばれる魅力としても重要なのであるので、他県との比較による本県の強みを多角的に把握するとともに市町村の事業を取りまとめ広く情報発信に努めること。

とより県民等の安全・安心の確保が求められるので、余震や豪雨への十分な警戒とともに、県内外への的確な情報提供などにより万全を期すこと。

・6月18日に発生した山形県沖を震源とする地震に係る対応について、早期の復旧はも

② 新総合交通・防災

であるので、他県との比較による本県の強みを多角的に把握するとともに市町村の事業を取りまとめ広く情報発信に努めること。

・水害時における住民への情

阿賀野市が
元気になる、提案・
意見をお寄せ下さい。

特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所
〒959-2221 阿賀野市保田 737-2
TEL:68-5441 FAX:68-5515

<http://www.hokaken.jp/>

に当たっては、地域資源の活用におけるブランド戦略の重要性、Made in 新潟 新技術普及活用制度の所得アップに係る効果検証の重要性、起業後の収益・雇用・税収に係る県の目標設定の必要性、建設業における人材確保対策の重要性等、本県の産業構造や業種別の課題認識を踏まえた取組が必要であるので、詳細な分析による的確な現状把握に基づく具体的な施策を検討すること。

(3) 県民所得アップ対策 特別委員会

報伝達に当たつては、多様な手段の導入が進む中、確実な避難行動につなげることが求められるため、有識者等の提言を踏まえ住民目線に立った有効な方策を検討すること。

◎「ほかりけんじ・県政便り」は、新聞折り込みでお届けします。